

平成29年度全国高等学校長協会家庭部会 第118回研究協議会愛媛大会 祝辞

平成29年10月23日（月）
にぎたつ会館

平成29年度全国高等学校長協会家庭部会第118回研究協議会愛媛大会の開催に当たり、お慶び申し上げます。

まず、昨日来の台風による影響が心配される中、お越しくくださった皆様を心から歓迎申し上げます。

そして本日、家庭科教育に携わっておられる多数の皆様の御出席を得て、本大会がここ愛媛の地で、このように盛大に開催されますことを、大変喜ばしく存じます。

また、全国高等学校長協会家庭部会が、長年にわたり、家庭科教育の充実、発展を通じて、有為な人材の育成に努めておられますことに、心から敬意を表する次第でございます。

先日、本県では、「愛顔つなぐえひめ国体」が開催され、無事、終了いたしました。県民総参加のもと、大会に関係する全ての人々が一体となって「手づくりの国体」に取り組み、「えひめらしさ」を全国に発信できたものと思っております。これも、全国から参加された選手をはじめ、御支援いただいた皆様方のお蔭であり、深く御礼申し上げます。また、10月28日からは、「全国障害者スポーツ大会（愛顔つなぐえひめ大会）」が本県で始まります。引き続き御支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

さて、今後の社会を担う子供たちには、グローバル化、少子高齢化、持続可能な社会の構築等の現代的な諸課題を適切に解決する能力が求められています。現在、国では、子どもたちが変化の激しい社会を生きるために必要な資質・能力を明確にし、社会との関わりの中で子供たち一人一人の豊かな学びを実現していく、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、学習・指導方法や学習評価の充実、生徒一人一人の多様な進路に応じた大学教育・大学入学者選抜の改革を一体的に進めているところであり、本年度末には、高等学校学習指導要領が改訂されることとなっております。

現在、本県では、「地域と連携した学校の魅力化」を進めており、各高校では、地域活性化の拠点としての役割を果たすべく、地域活性化に貢献できる人材の育成に取り組んでいるところです。昨年度開催された、「えひめいやしの南予博2016」では、「高校生ふるさと料理マルシェ」と題して、各校の高校生が地域の特産物を使った創作料理を披露し、好評を博しました。

こうした取組を通して、自らを育ててくれた地域への愛着を深め、将来、地元愛媛のために活躍できる若者として成長することを強く期待するとともに、今後さらに、自身の生涯を見通して主体的に生きる力を育み、家庭や地域の生活を創造できる能力と実践的な態度を育む家庭科教育に、力を入れていきたいと考えております。

どうか、皆様方には、今日からの二日間、家庭科教育の一層の改善・振興に向けて十分に研究を深められ、実り多い大会にしていただきますようお願い申し上げます。

なお松山は、日本最古といわれる道後温泉や松山城、今年、生誕150周年を迎える正岡子規の記念博物館など、多くの名所・旧跡があり、「いで湯と文学のまち」として知られております。また、瀬戸内しまなみ海道を中心として、県全体でサイクリング・パラダイスを目指す「愛媛マルゴト自転車道」等も推進しておりますので、ぜひこの機会に愛媛の歴史や文化、自然に触れていただければ幸いに存じます。

終わりにになりましたが、全国高等学校長協会家庭部会のますますの御発展と、御参会の皆様方の御健勝と御活躍を心から祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。